GLOBAL INFO

TIA発！ 国際ボランティア情報誌

2011.3.1(季刊)　ISSN 0915-1710

NO.16

2010年度ナショナルデー

豊田市国際交流協会（ＴＩＡ）では、国際交流イベントとして、「ナショナルデー」を日曜日（月1、2回程度）の午後2時から3時まで開催しています。この事業は、愛知県在住の外国人や、海外で生活したことのある日本人の方を講師に招いて、その国に関する紹介を行うというものです。今年度は今後行われるものも含めて15か国が紹介される予定です。このイベントの特色として、次の二つの点が挙げられます。第一に、講師の顔ぶれが多彩なことです。英語教師、プロの演奏家、青年海外協力隊ＯＢなど、様々な経歴を持つ講師が自身の体験を通して、その国の歴史、観光、人々の生活などについて話をしたり、歌、楽器、ダンスのパフォーマンスをしたりします。第二に、ボランティアの活動の場となっていることです。今年度は、TIAボランティアグループ「ＧＬＯＢＥ」や、「ほづみ会」の企画によるナショナルデーが行われました。開催予定は「広報とよた」やＴＩＡのＨＰに随時掲載しており、参加費・申し込みは不要です。お気軽にナショナルデーにお立ち寄りください。

（構成／明石志保子）

4月：カナダ

5月：フランス

5月：イタリア

6月：チェコ

7月：ドイツ

7月：マルタ

8月：ジャマイカ

9月：ガーナ

10月：スコットランド

10月：タイ

11月:ブラジル

12月:オーストリア

今後の予定…3月：ニカラグア　4月：アメリカ

日本語教室

お知り合いの外国人住民の方にお知らせ下さい!

●TIA日本語講座
内　容) 有資格者による日本語指導
日　時) 4月9日～9月17日　毎週土曜日　午前9時半～12時
受講料) 10,000円／期 (テキスト代別)
レベル) 入門～初級
定　員) 各クラス20人程度
申込み) 3月26日 (土) 午前10時よりTIAにて

●日本語サロン
内　容) TIAボランティアグループによる受講者のレベルに応じた授業
日　時) 4月13日～9月中旬　毎週水曜日　午前10時～12時
受講料) 1,000円／期
レベル) 入門～上級クラス
申込み) 日程の詳細は電話にてお問い合わせください。
その他) 小さい子どもさんと一緒でも可

●Alpha日本語教室
内　容) TIAボランティアグループによる受講者のレベルに応じた授業 (開催中)
日　時) 1月16日～4月10日 (イベントがあれば17日まで)
毎週日曜日　午前10時半～12時半
受講料) 1,500円／期 (テキスト代別)
レベル) 入門～上級クラス
次回申込み) 5月8日 (日) 午前10時半よりTIAにて

●日本語教室はじめのいっぽ
内　容) TIAボランティアグループによる授業 (開催中)
日　時) 10月3日～2011年3月27日　毎週日曜日　午後3時～5時
受講料) 1,000円／期
レベル・申込み) 入門～初級レベル　電話にてお問い合わせください。
その他) 日本語を教えるボランティア募集中！経験は問いません。
申込み) 随時

●やっぱり！日本語講座
内　容) 日本での日常生活や就職活動に役立つ簡単な日本語 (開催中)
日　時) 1月11日～3月25日 (各クラス全11回)
昼間クラス　午後3時～4時半
夜間クラス　午後7時～8時半
(入門クラス／金曜日
初級クラス／木曜日
上級クラス／火曜日)
受講料) 無料 (テキスト代別)
申込み) TIAにて申込み受付中
※既に定員に達している場合があります。電話にてご確認ください。

ナショナルデー

日曜日　自国の文化を紹介、各国の方と交流するナショナルデーを開催しています。自国をご紹介していただける方も募集中です！
時　間) 午後2時～3時
参加費) 無料
今後の予定) 3月6日 (日) ニカラグア・デー
4月10日 (日) アメリカ・デー

TIAボランティアグループから

●日本文化紹介グループ
外国人の方へお茶・生け花・習字・折り紙・着物・絵手紙の体験クラスを行なっています。お知り合いの外国人の方へぜひご紹介下さい。

クラス	料金 (1回)	クラス	料金 (1回)
茶　道	300円	折り紙	100円
生け花	1,000円 (前払い)	着　物	200円
習　字	100円	絵手紙	50円

申込み) TIA事務局で申込用紙をご用意しています。申込み後、日程調整のうえ実施します。

TIA主催事業

●子ども英語交流補助ボランティア募集
内　容) 小学校の英語活動への補助。子どもへの発音指導やコミュニケーション活動への参加など
対　象) 18才以上の人。要普通自動車免許。希望者は事前に申込みのうえ、説明会にご参加ください。
説明会) 3月11日 (金) 午後2時～
申込み) 2月19日 (土) 午前10時～　電話 (33－5931) にて

●JICA海外ボランティア説明会
時　間) 4月2日 (土) 午後2時～4時
内　容) 国際協力機構 (JICA) による青年海外協力隊、シニア海外ボランティア制度の説明会。実際のボランティア経験者からも体験談やアドバイスを直接聞けます。
参　加) 参加費無料、予約不要、途中入退場可能

お知らせ

●ボランティア登録の更新についてお願い
3月から来年度 (2011年度) のボランティア登録の更新を受け付けます。ボランティア登録用紙に必要事項をご記入の上、年間登録料500円を添えてＴＩＡ窓口までお越しください。3月末までは2010年度分のボランティア登録も同時に扱いますので、窓口にて登録年度をお申し出ください。

あなたも日本語教室で外国人学習者と交流してみませんか?

ー名古屋大学 とよた日本語学習支援システムー

豊田市では名古屋大学と協力して、2008年度から市内の外国人住民が生活に最低限必要な日本語能力を身につけるための仕組みづくりとして「とよた日本語学習支援システム構築プロジェクト」を推進してきました。このシステムでは「交流中心の日本語教室」の開設・運営の支援、講師・ボランティアの育成、テストの開発、eラーニングの開発などに取り組んでいます。その中でも「交流中心の日本語教室」では、外国人のみなさんと日本語で会話をしながら、学習のお手伝いをする日本語パートナー (ボランティア) を募集しています。

○日本語パートナー募集中の日本語教室
あすて日本語教室 (本町)　東海理化日本語教室 (鴻ノ巣町)
外根にほんご教室 (若林東町)　東陽精機日本語教室 (高岡本町)
保見にほんご教室 (保見ヶ丘)　メイドー日本語教室 (木瀬町)

詳しくはシステムHP (http://www.toyota-j.com/) をご覧いただくか、当システム担当の北村 (TIA常駐) までお尋ねください。

「外国人子弟教育支援事業」の今

4月よりスタートした「外国人子弟教育支援事業」（事業の概要についてはGLOBAL INFO №14を参照）が1年を迎えようとしています。今回は、支援員として奮闘している重本ウィリアンさんに日々の業務の紹介や仕事を通しての想いを語ってもらい、事業の今をお伝えします。

はじめまして、去年の9月からTIAで外国人子弟教育支援員として勤めさせて頂いております、重本ウィリアンと申します。外国人住民の集住地区である保見団地を中心に活動するNPOや小学校を巡回し、ポルトガル語の通訳と翻訳をしています。

保見団地付近の小学校では5割以上の生徒が外国籍の子どもたちです。このため、日本語学級等の国際化に対応した教育を積極的に取り組んでいるのが分かります。

日本生まれ、日本育ちの子もいれば、経済不況で親が職を失いブラジル人学校へ通えなくなり、日本の小中学校へ転校して慣れない環境に戸惑う子たちもいます。状況は様々です。彼らのために活動するNPO団体を少しだけ紹介させて頂きます。

NPO法人トルシーダ※（※ポルトガル語で応援という意味）では日本の学校へ通っていない子どもたちが安心していられる場所で教育を受けられるように活動をしています。日常生活や学校に必要な日本語を身につけ、日本の学校への転入がスムーズに行えるよう学習を行っています。社会見学や祭りなどにも参加しています。

NPO法人子どもの国は、放課後支援教室や自立支援活動などを通して、子どもたちの教育について考え、子どもたちが未来の夢を語れるようにサポートしています。

NPO法人保見ヶ丘国際交流センターではスタッフの多くが大学生で、会話を中心にした日本語教室ホミーゴや就職を目指している学生たちのために頑張っています。さらにはイベントなどを開催し、日本人住民と外国人住民たちが交流を通じて、互いに助け合い、皆にとって暮らしやすい社会の実現に近づけたいと活動しています。

小学校で活動する先生や、ボランティアのみなさん、NPOを代表する人々、スタッフのそれぞれ子どもたちに対する想いは深く、師弟と言うよりまるで家族のような関係で子どもたちと接しています。目的は皆同じだと思います。国籍に関わらず、すべての子どもたちが健やかに育ち、自ら生きる力を身につけ、そしてそれを地域の人々が支え合い、豊かな社会になることを願って、日々努力しています。

子どもたちには言語の違い、異なる文化や生活習慣など、乗り越えなければいけない壁はたくさんあります。僕も彼らと同じでした。幼い頃母国を離れ、来日しました。日本の小学校に入学し、言葉が分からず、いじめにもあいました。不安がいっぱいでしたが、いつもそばにいてくれた家族、友人たちの支えがあったから今の自分がここにいると思います。子どもたちの気持ちは痛いほどわかります。だから彼らには忘れないでほしいことがあります。どんなに負けそうになっても諦めないこと。自分たちを愛し、いつも暖かく見守って応援をしている人々がいること。そんなみんなを思い出せば必ず前に進む道が見えてくるはずです。夢をもって、人との繋がりと思いやりを大切に頑張ってほしいです。

あなたも一緒に子どもたちを支援（サポート）しませんか？

子どもたちの漢字の勉強をサポート。
左から3人目がウィリアンさん（トルシーダにて）

ウィリアンさんの隣に座るのに子どもたちがいつも競争（ひまわりにて）

「在籍者の年齢に近い彼はお兄さん的な存在。自身も日本の小中学校に通い、その経験をうまく子どもたちに伝えてくれています。その反面、年齢が近いだけに、彼らを叱ったり指導する時の通訳は大変そう。ここでの経験が将来に役立ってくれるとうれしいです。」

（NPO法人トルシーダ・スタッフのコメント）

「彼にはスタッフが作成する子どもの学習記録を翻訳してもらっていますが、保護者に教室での子どもの様子を伝える大切な手段になっています。彼は子どもにとってはもちろんですが、スタッフをサポートする役割も担ってくれています。」

（東保見小学校放課後学習支援教室「ひまわり」・担当教員のコメント）

（構成／重本ウィリアン・白井彩絵）

“NPO学生によるまちづくりの会”よりご寄附をいただきました

去る1月14日（金）、「NPO学生によるまちづくりの会」の小島直亨（こじまなおゆき）会長がTIAを訪れ、47,453円を寄附されました。当日はTIAの他にも市内のブラジル人学校、日系人支援で活動している団体などにも同会から寄付金が贈呈されました。この原資は経済的に苦しい立場にある市内の外国人住民支援のために、同会が昨年12月18日（土）に豊田スタジアムでチャリティーバザーを開催した際の売り上げにあたります。TIAでは同会の高い志を尊重し、日本語教材の充実などで有効に役立たせていただきます。ご支援を心より感謝いたします。

（構成／佐藤健）

小島直亨会長より豊田彬子TIA理事長へ目録が贈呈されました。

「豊田市外国人災害サポートボランティア養成講座」が開催されました

▲ことばのわからない中、避難することをすごろく感覚で疑似体験するワークショップ「カタストロフォイ」

今年で5年目の開催となる同講座が11月20日、12月4日、18日の3回にわたって開催されました。3日間で延べ85人の受講者が集まり、25人の皆さんが修了証を手にすることができました。参加者のうち半分以上を外国人住民が占め、彼らの防災に対する関心が高いことは同胞の外国人住民にとって大変心強いことではないでしょうか。

講座では「外国人被災者をことばでサポートするボランティア」として必要な知識や心構えを学んだり、実際の災害現場を想定した内容の通訳や翻訳の演習をしたり、防災意識を高めるワークショップに取り組んだりしました。時には外国人と日本人の受講者がそれぞれの足りないところをカバーしあって演習に臨む姿も見られ、このチームワークが実際の現場でも活かされればと思いました。しかし、普段使い慣れない防災に関する表現を外国語に訳したり、通訳の場面で人の話を集中して聞きもらさないよう努めたりするなど、非常に大変な作業であることも受講者の皆さんは実感されたことでしょう。この講座がさらなるレベルアップとなることを願っています。

▲経験豊富な講師が災害時通訳・翻訳で気をつけるべきポイントを伝授

▲災害時に翻訳することが想定されるチラシについて、どんな表現を選べばよいか相談中

幸いサポートボランティアの皆さんが実際に活躍する事態は過去に生じていませんが、TIAでは災害時にもボランティアの皆さんの協力が得られるよう、このネットワークを引き続き大切にしていきたいと考えています。

（構成／佐藤健）

多文化の窓 MEET THE WORLD

先生に聞きました

今回ご紹介するのは、TIAで中国語入門講座を担当して8年、3年前からは中国語相談員としても活動している、中国北京出身の水野艾（みずのあい）さんです。

水野さんは16年前に日本と日本語に興味を持ち日本に留学。以来日本に暮らし続け、結婚を機に豊田へ移り住みました。初めて日本に来た時の印象は、「清潔」「礼儀正しい」「よく働く」だったといいます。現在は日本人の控えめであいまいなところが好きなのだとか。中国では遠回しな言い方をしないため、分かりやすい反面、傷つくことも多いからだそうです。逆に中国のよいところは「個性があること」。中国では日本人のように同じ服、同じ髪型をすることはなく、学校でも個性があると褒められます。日本では協調性が求められますが、中国は互いの個性を大事にし、認め合うお国柄なのですね。

そんな水野さんの得意料理は煮物や煮魚！お義母さんに教えてもらい、今では日本の料理が得意になってしまったそうです。毎日の食卓は、もちろん日本の家庭料理ですが、時々餃子を皮から手作りすることもあります。

最近の日本と中国との関係について、水野さんに「お互いの国の関係が良好になるにはどうしたらよいか」と質問をぶつけてみたところ、「草の根の交流を大事にすることだと思います。人と人とのつながりはとても大事ですから。自分も中国の情報や考え方を日本に伝えてゆき、心の壁がなくなればと願っています。私の活動が少しでもお役に立てば嬉しい」と答えてくれました。とてもしっかりした考えをお持ちで、情熱とやりがいを持って日々活動している水野さんに、感動と敬意を覚えました。さまざまな国と国とが分かり合えるよう、自分たちにもできることを一つ一つ実行していこう！と勇気をもらえました。

（構成／春木ゆかり）

豊田市外国人登録者数の状況

国籍	人数	割合(%)
ブラジル	6,388	44.2
中国	3,001	20.8
韓国又は朝鮮	1,467	10.2
フィリピン	1,216	8.4
ペルー	718	5.0
ベトナム	301	2.1
タイ	288	2.0
インドネシア	230	1.6
その他(68カ国)	835	5.8
総数(76カ国)	14,444	100

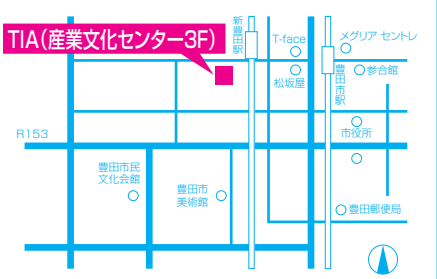
豊田市総人口	422,943
外国人登録者数の割合(%)	3.42

2011年1月1日現在豊田市調べ

編集後記

世の変化と同じく、家族にも変化がある。子どもたちは気が付いたら大きくなって、今住んでいる部屋はかなり手狭になってしまった。かといって、実家で両親と同居をするにしても、父親の健康状態が気がかりで家を建て替えることも難しい…。世の誰もが経験することなのだろうが、家族の変化やその責任に対して戸惑う34歳男性の冬。

（健）



2011年3月1日発行（3,000部季刊）
編集・発行 財団法人豊田市国際交流協会（TIA）
〒471-0034 豊田市小坂本町1-25 豊田産業文化センター3F
TEL（0565）33-5931 FAX（0565）33-5950
E-mail:tia@hm.aitai.ne.jp〈月曜休（ただし祝日は開館）〉
〔ホームページ〕 http://www.tia.toyota.aichi.jp/